

迎春

「政治の私物化はもうダメ!」「進学も応援してほしい」

今こそ政治を変えよう

昨年は、市長・市議会議員選挙、参議院選挙でお寄せいただいたご支援に感謝申し上げます。10月からの消費税10%増税が景気を冷やし、「桜を見る会」疑惑への批判の高まりで内閣支持率が急落しています。

今年こそ、市民と野党の共闘で政治の流れを変えましょう。国政でも市政でも、みなさんとともに、新しい希望ある政治を実現するために全力をつくします。



船橋市や野田市で実現している看護学生への奨学金制度の創設を求め、市へ要請署名(約7千筆)を提出した看護学生のみなさんと党議員団(左から、小田桐たかし市議、高橋あきら市議、植田和子市議、いぬい紳一郎市議)

「声を上げて良かった」「これで命を守れます」 2019 市民との運動 実る!

市民と共同した運動を広げ、様々な改善・前進がありました

- 生活保護世帯へのエアコン設置助成
- 小児夜間救急医療機関への支援増額
- 消費増税に伴う給食費値上げ回避
- 就学援助の対象枠拡大
- 子どもの学習支援の対象者拡大
- 新設小学校2校建設を表明
- 学校給食費の公会計制度導入
- 精神障がい者医療費助成に対する県補助額の創設
- 地域包括支援センターの増設
- 思井の森の保存表明
- 消防・保健など市職員の増員 など



防災 対策改善へ 前進!! 洪水ハザードマップ 改善へ

2年前の法律改定が県内で活かされず、本市のハザードマップの更新もされていません。日本共産党の指摘に「令和2年度見直す」と表明しました。

日本共産党は、台風・豪雨被害から江戸川決壊も想定した避難計画の策定、高齢者等災害弱者のバス集団移動などいち早く避難できる体制強化などを提案しました。

避難所の改善へ、積極提案

日本共産党は、台風19号の際、市内避難所を訪問。現場の声や被災自治体の事例を議会に届けました。市当局も不十分さを認め、窓ガラス飛散防止や避難所運営にあたる市職員の防災服着用など徹底を約束。また政府が策定した設営や運営のマニュアルを活かした取り組みへ改善されます。

防災ラジオ導入を

聞き取りにくい防災行政無線の対策として、6年前から市議会でも共通課題に。日本共産党は、国補助金を活用し実施を迫りましたが、市は経費抑制の立場から、引き続き「検討」にとどまりました。



流山民報

2020年
新春号
NO.201号



流山市加4-1688 TEL/FAX (7157) 6140
メールアドレス giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ http://www.nagareyama-jcp.jp/
流山市議会 TEL (7158) 1111

ご意見・ご要望をお寄せください